

観光実務と国際マナー	履修年次	2	
	単位	2	
池田 るり子	配当期	後	
	授業方法	演習/ライブ	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>観光実務の主要な業務内容と基本的知識を講義形式で学んだ後、演習形式で観光産業における実務の位置づけを理解する。なお、演習については、個人による活動以外にペアワーク、グループ活動により実践的なコミュニケーション力を身につける。また、プロジェクト活動(受注型企画旅行)でのグループ活動を通じ、PDS(Plan-Do-See)サイクルを体験し、ビジネス実務能力及び観光業務遂行の方法を体得する。受注型企画旅行のプレゼンでは、企画内容だけではなく、海外で求められるマナーや注意すべきタブー、衣食住の異文化研究、外務省危険情報について発表する。</p> <p>授業外学習についての指示、提出は manaba で行う。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・観光実務の事例研究と実践研究の関係を理解し、観光実務について説明することができる。 ・海外旅行の分野に関心を持ち、「新しい時代の旅行企画」について深く討議し、仲間と共に企画発表までの作業を協働で完成することができる。 ・異文化研究を通して異文化理解を実践し、コミュニケーション能力を修得できる。 			
成績評価の方法			
授業への積極的参加、授業出席、授業外学習、小テスト、課題提出及び定期試験の結果により総合的に評価する。出席及び授業への参加度を重視し、個人課題とグループ課題の両方を評価する。			
週	授業項目	週	授業項目
1	ガイドンス	8	観光実務と国際マナー—異文化研究発表—
2	観光実務のとらえ方—関連資格の理解—	9	観光実務と国際マナー—企画書の書き方—
3	観光実務のとらえ方—関連約款の理解—	10	観光実務と国際マナー—付加価値情報作成—
4	観光実務の実践とすすめ方—業務内容の確認—	11	観光実務と国際マナー—情報提供の方法—
5	観光実務の実践とすすめ方—中間報告—	12	観光実務と国際マナー—顧客への情報提供—
6	観光実務の実践とすすめ方—最終報告—	13	観光実務と国際マナー—プレゼンのあり方—
7	観光実務と国際マナー—異文化理解—	14	観光実務と国際マナー-相互評価とふりかえり-